

平成29年度事務事業評価シート

No.294

平成29年6月29日作成

事業番号	455		担当課等		社会教育課					
事務事業名	湯河原温泉オレンジマラソン開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	③ スポーツ教室、イベントの開催
関連する個別計画					
目的	健康増進及び体力向上を図るほか、大会を通じて仲間との触れ合いを大切に、観光客の減少する時期に開催することにより、町に再度訪れてもらう機会を提供することにより、観光客の増加にも資する。				
対象	小学1年以上の方				
内容	3Km, 5Km, 10Km, 大人と子どもで3Kmを走るファミリー、ペアの年齢合計が100歳以上で走るペア3Kmが、同時スタートで走る				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		9,249,903	9,694,938	11,559,000		
	人件費	常勤職員	2,508,320	2,467,360	2,397,680		
		非常勤職員等	84,630	86,490	86,490		
		人件費合計	2,592,950	2,553,850	2,484,170		
	総事業費		11,842,853	12,248,788	14,043,170		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		9,008,500	9,090,700	9,865,000		
	一般財源		2,834,353	3,158,088	4,178,170		
	財源合計		11,842,853	12,248,788	14,043,170		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
申込者数			大会認知度及び普及目安	人・組	3,174	3,120	3,000
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
宿泊パック利用者数			観光客の誘客	人	186	138	150

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	関係機関をはじめ、協力各方面への依頼は行政でなければならない。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎回3,000人を超える応募があり、北海道など遠隔地からの参加者もいる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	参加者は無料入浴による湯河原温泉の体験のほか、町内の観光や土産物を堪能している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	参加賞のほか、上位入賞者へ賞品も用意されている。また希望者へ無料入浴券を配布しており、温泉風呂に入ることもできる
平成28年度までの自己評価または改善点		平成20年度予算から町直営とした。 毎回、実行委員の属する各組織から問題点など意見を徴し、次回に対応することにより、大会の運営やお客様へのサービス向上につながっている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	過去には実行委員会へ委託していたが、金銭の適正な運用と透明化のため、町直営とした経緯があり、大会全てを委託に出すことは、大きな混乱も予想され不可能と考える。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	実行委員会で提案された意見に対応している。	
平成30年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.295

平成29年6月29日作成

事業番号	456	担当課等	社会教育課								
事務事業名	湯河原町体育協会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	① スポーツ活動の支援
関連する個別計画					
目的	協会を組織する各部は活発な活動を行っており、スポーツ少年団の育成も町のスポーツ振興に大きく貢献している。また、町スポーツ行事へは企画・立案・運営と中心的な役割を担っており、それらの実績を踏まえ補助を行い、結果、各行事を通して町民の体力向上、健康増進を図る。				
対象	湯河原町体育協会				
内容	各部の人数、活動実績に応じて補助を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		2,000,000	2,000,000	2,000,000		
	人件費	常勤職員	62,708	61,684	59,942		
		非常勤職員等					
		人件費合計	62,708	61,684	59,942		
	総事業費		2,062,708	2,061,684	2,059,942		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		2,062,708	2,061,684	2,059,942		
	財源合計		2,062,708	2,061,684	2,059,942		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開催大会数			活動の指針となる。	回	10	9	9
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			体力向上・健康増進となる	人	827	518	600

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町民の体力向上と健康増進を図るなど、スポーツに親しむことが重要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	スポーツ行事への企画・運営に参加している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民レクリエーションの集い、湯河原温泉オレンジマラソンなど職員だけでは対応できない行事に協力いただいている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	各競技部の人数、活動に応じ配分している。
平成28年度までの自己評価または改善点		活動する部数や部員の人数に合わせ、補助額を減額している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助金の交付という性格上、委託や指定管理には馴染まない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし。	
平成30年度以降の方向性	各部の活動や構成員の状況を確認しつつ、その状況に見合った形で事業を進める。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.296

平成29年6月29日作成

事業番号	458	担当課等	社会教育課								
事務事業名	スポーツ振興助成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	① スポーツ活動の支援
関連する個別計画					
目的	スポーツの優秀選手及び団体の活動を助成し、町民のスポーツの振興を図る。				
対象	町民				
内容	町の社会体育の振興を図るため、県予選を経て関東及び全国大会等に準ずる大会に出場した選手に対し、大会参加に要す経費の一部を助成する。 また、経費のかからない選手については、出場祝い金として支給する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費		85,000		60,000		120,000	
	人件費	常勤職員	68,777		35,817		92,814	
		非常勤職員等						
		人件費合計	68,777		35,817		92,814	
	総事業費		153,777		95,817		212,814	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		153,777		95,817		212,814	
	財源合計		153,777		95,817		212,814	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
交付件数			交付実績		件	17	9	24
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
出場大会数			町のスポーツ振興		大会数	17	9	24

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	各種大会への参加に当たっては、競技種目、大会開催地等によって必要となる経費が異なるが、その一部を助成することにより、負担の軽減が図られる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	助成金の交付は負担の軽減となり、また、選手の励みにもなる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	出場選手(又は団体)の負担軽減に寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	交付基準を満たしているか審査を行い交付決定する。
平成28年度までの自己評価または改善点	平成21年度に1大会当たりの個人への助成金額を10,000円から5,000円に減額。 平成22年度に1大会当たりの団体への助成金額を30,000円から10,000円に減額。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 審査にあたり個人情報を含むため。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	必要に応じて助成金額の見直しを行う。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.297

平成29年6月29日作成

事業番号	459	担当課等	社会教育課								
事務事業名	町民レクリエーションの集い開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	② スポーツ・レクリエーションの場づくり
関連する個別計画					
目的	誰でも参加できる行事とし、住民の健康・体力の増進のほか、住民相互の親睦や異世代間の交流を行う。				
対象	町民				
内容	町内の各区(奥湯河原区は温泉場区と合同)や、会場に来られた方々がスポーツレクリエーションを体験し、体を動かすことの大切さや爽快感を感じることで、各自の体力や健康の増進につなげる。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)			
	事業費		751,871	1,149,858	1,097,000			
	人件費	常勤職員	1,881,240	1,850,520	1,798,260			
		非常勤職員等	56,420	57,660	57,660			
		人件費合計	1,937,660	1,908,180	1,855,920			
	総事業費		2,689,531	3,058,038	2,952,920			
財源内訳	国庫支出金			1,149,858	548,000			
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		2,689,531	1,908,180	2,404,920			
	財源合計		2,689,531	3,058,038	2,952,920			
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			参加延べ人数		人	1,990	中止	2,000
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
ヘルシープラザ開催の			自主的なスポーツの実施		人	9,094	9,026	9,000
運動教室参加者数								

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	以前は町民運動会として開催していた事業内容を、競技性を抑え誰でもが参加しやすい行事としたため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	目標値や効率を追求するものではなく、町民多くの参加者によりスポーツに慣れ親しんでもらうもの。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	昼休みに行う介護体操(ズンドコ体操)など、体を動かすことへの関心を喚起している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	多くの方々に参加いただいている。
平成28年度までの自己評価または改善点		開催場所を湯河原総合運動公園から、より交通の便のよい湯河原町民グラウンドに変更した。その後の施設売却に伴い現湯河原中学校グラウンドでの開催が決定した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	平成20年度以前は実行委員会へ委託していたが、事業執行の適正化及び透明化のため町直営とした。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	・実行委員会や各区から上げられた意見に対応し、問題点の解決を図っている。 ・施設売却に伴い、開催場所が現湯河原中学校グラウンドに変更。	
平成30年度以降の方向性	平成29年の実績をベースに、参加者の車両の置き場所や移動方法など反省点の改善を行い、より多くの方々に参加いただける行事を目指す。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.298

平成29年6月29日作成

事業番号	461		担当課等		社会教育課						
事務事業名	各種大会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	③ スポーツ教室、イベントの開催
関連する個別計画					
目的	子どもから高齢者まで楽しめるスポーツ大会等を開催し、町民の健康増進、体力の向上、参加者相互のコミュニティ形成等を図る。				
対象	町民				
内容	町が主催する各種スポーツ大会等を各種団体に委託して開催するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		357,200	370,000	370,000		
	人件費	常勤職員	1,191,452	1,233,680	1,198,840		
		非常勤職員等					
		人件費合計	1,191,452	1,233,680	1,198,840		
	総事業費		1,548,652	1,603,680	1,568,840		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		78,800	67,600	110,000		
	一般財源		1,469,852	1,536,080	1,458,840		
	財源合計		1,548,652	1,603,680	1,568,840		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開催大会数			開催実績	回	7	7	7
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			町のスポーツ振興の向上	人	548	383	500

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	運営団体自らで企画・運営が可能な大会については、町による委託事業から独自開催へ移行を検討する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町費の負担は少額であるが、参加者の満足度は高いと感じられる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	毎年同時期に開催される各大会での成績を目標とするだけでなく、参加することが楽しい町民が多くおり、スポーツ振興以外の効果もある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	主に町民を対象とした大会等であり、参加が容易である。
平成28年度までの自己評価または改善点		平成27年度に、大会の種目を回数を重ねたソフトバレーボールから、スポーツ推進委員会が現在普及促進しているファミリーバドミントンに変更した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	体育協会、スポーツ推進委員に委託済み。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	大会等の参加者数、チーム数の増減を考慮し、大会継続の必要性を検証するとともに、町民のニーズに合わせた新たな大会、レクリエーション等の開催についても検討する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.299

平成29年6月29日作成

事業番号	463	担当課等	社会教育課							
事務事業名	夏季プール開放事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	8	08	目	01	事業開始年度	平成 14 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	② スポーツ・レクリエーションの場づくり
関連する個別計画					
目的	福浦海浜プールの廃止に伴い、東台福浦小学校プールを地域の児童及び中学生以下の生徒に開放するもの。				
対象	中学生以下の児童、生徒				
内容	東台福浦小学校プールを夏休みの一定期間(平成22年度からは9日間)地域の児童及び中学生以下の生徒達に開放するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費		663,818		691,200		735,000	
	人件費	常勤職員	204,307		139,286		135,353	
		非常勤職員等						
		人件費合計	204,307		139,286		135,353	
	総事業費		868,125		830,486		870,353	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		868,125		830,486		870,353	
	財源合計		868,125		830,486		870,353	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開放日数			ニーズに合わせた解放期間		日	9	9	9
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
入場者数			利用状況		人	255	231	300

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	廃止された福浦海浜プールの代替施設の役割を担う必要性がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	3	平成28年度において、人件費を除いた開放日1日当たりの事業費が76,800円、入場者1人当たりの事業費が2,993円かかっている。
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	多くの東台福浦小学校児童が利用していることから、廃止された福浦海浜プールの代替施設の役割を果たしていると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	中学生以下の者は全員入場可能であり、幼児の同行であれば大人でも入場が可能である。
平成28年度までの自己評価または改善点		利用者数は天候に左右されるが、一定の需要があるものと判断している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	入札により執行している。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし。	
平成30年度以降の方向性	地域のニーズに合わせた開放日数の調整を行っていきたい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.300

平成29年6月29日作成

事業番号	1225	担当課等	社会教育課										
事務事業名	町民体育館施設改修事業												
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	03	事業開始年度	平成	年度		

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P133 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	1 生涯学習の推進	5 スポーツ	(1) スポーツ施設の充実	① スポーツ施設の利用促進・運営充実
関連する個別計画					
目的	平成22年度から町民の体力向上・健康増進を目的に供用を開始したが、利用形態としてスポーツのほか講演や音楽会場など多目的な利用があり、また避難場所として指定されていることから、空調機を設置し快適な温度管理ができる環境とするため。				
対象	町民体育館				
内容	空調機等設置のための実施設計を委託するもの 平成29年度 実施設計委託 平成30年度 設置の実施(予定)				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		388,800	4,320,000	3,338,000		
	人件費	常勤職員	156,770	308,420	419,594		
		非常勤職員等					
		人件費合計	156,770	308,420	419,594		
	総事業費		545,570	4,628,420	3,757,594		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源			1,504,996			
	一般財源		545,570	3,123,424	3,757,594		
	財源合計		545,570	4,628,420	3,757,594		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
施設の維持修繕			利便性の向上	回	1	1	1
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施設計の完成			施工による利便性の向上	回	1	1	1

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	5	指定管理制度を導入しているが、町有施設であり、利便性向上のため必要。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	採算性を求める事業ではないが、施設使用者の事故もなく利便性や安全が確保されている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	使用者の利便性が向上しており、成果が得られている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	誰でも利用できる施設であるので、受益機会の均等が図られている。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	アンケート結果など利用者の声を基に、利便性の向上に努める。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・計画的に実施すること ・特になし
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)
---------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.301

平成29年6月29日作成

事業番号	420	担当課等	社会教育課								
事務事業名	音楽会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	② 自主的な文化活動の活性化
関連する個別計画					
目的	町民の音楽に対する意識の高揚と、町民同士の交流を図る。				
対象	町民				
内容	合唱や演奏などの活動を行うサークルの発表の場として、また、プロによる音楽を鑑賞する場として年に1回、音楽会を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費		378,010	330,266		377,000		
	人件費	常勤職員	313,540	308,420		299,710		
		非常勤職員等	14,560	14,880		14,880		
		人件費合計	328,100	323,300		314,590		
	総事業費		706,110	653,566		691,590		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源		221,000	128,000		220,000		
	一般財源		485,110	525,566		471,590		
	財源合計		706,110	653,566		691,590		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
音楽会開催日数			交流の機会設定		日	2	2	2
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			音楽による交流人数		人	310	314	350

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	実行委員会の組織づくりや事業の運営、PRをするにあたり町の支援が必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	PRの強化により参加者を増やす余地があると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	参加団体による活発な議論を経て運営がされており、音楽に対する意識高揚が達成されている。しかし、参加団体をさらに増やすことが課題。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町民全体を対象とし、幅広く参加可能。
平成28年度までの自己評価または改善点	従来同日に開催していたプロの部とサークル(一般)の部を、別日の開催とした。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	音楽サークルなどに所属する町民の参画により実施している。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	サークルの部の参加団体が、ジャンルを問わず広く参加できるようPRを図る。	
平成30年度以降の方向性	実行委員会による運営の推進と、音楽祭への参加者の募集及び観覧者の増加。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.302

平成29年6月29日作成

事業番号	421	担当課等	社会教育課								
事務事業名	文化祭開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	② 自主的な文化活動の活性化
関連する個別計画					
目的	芸術・文化各方面で活動している各種文化団体を中心とした各団体に、日頃の成果を発表する場を設けることにより、団体間の交流を深め、町の文化の振興・発展を図る。				
対象	各種文化団体等				
内容	毎年10月～11月の2か月間、図書館や観光会館などを会場として、各団体の活動の発表の場を提供する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		417,211	433,608	407,000		
	人件費	常勤職員	175,582	141,873	137,866		
		非常勤職員等	21,840	22,320	22,320		
		人件費合計	197,422	164,193	160,186		
	総事業費		614,633	597,801	567,186		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		614,633	597,801	567,186		
	財源合計		614,633	597,801	567,186		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
文化祭実行委員会議回数			交流機会の回数	回	4	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
文化祭参加団体数			文化の振興・発展した団体数	件	16	18	18

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	文化の香り高いまちを目指すため、町の積極的な支援が必要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	多くの参加団体の活発な発表等による文化の発展、振興が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民の文化意識向上に大きく寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	広く全町に周知PRし、参加団体の呼びかけを行っている。
平成28年度までの自己評価または改善点		特になし	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 町内で活動する各種文化団体、サークル等の発表の場づくりであり、委託に適さない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	新たな参加団体の発掘に力を注ぎ、若い世代を含め本町の特色のある文化振興を目指し事業を継続する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.303

平成29年6月29日作成

事業番号	422	担当課等	社会教育課							
事務事業名	家庭教育学級開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	① 学習機会の充実
関連する個別計画					
目的	社会の変化とともに、家族や子供を取り巻く環境が様々に変容する中で、家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子供達の子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高める。				
対象	保育園児、幼稚園児、小学生及び中学生の保護者				
内容	家庭教育に係る講義等を年4回開催するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		140,000	138,400	174,000		
	人件費	常勤職員	172,447	169,631	164,840		
		非常勤職員等	36,400	33,480	33,480		
		人件費合計	208,847	203,111	198,320		
	総事業費		348,847	341,511	372,320		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		348,847	341,511	372,320		
	財源合計		348,847	341,511	372,320		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
家庭教育学級実施回数			参加機会の提供	回	4	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加人数			子育ての理解を高める	人	302	300	300

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生涯学習の一環として家庭教育について学ぶ機会の提供するため、町が実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	就学後の児童の子育てに対する様々な内容の講義は他の事業にはなく、参加者が子育てに対し理解を深め、考えるきっかけとなっている。
類似性	他事業との類似はないか	5	専門知識をもつ講師の選定により幅広い知識の習得ができる。また、子育てに対する多角的な考えが身についている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	各学校や保育園、幼稚園また広報などを通じて幅広く参加の募集を行っている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	
平成28年度までの自己評価または改善点		できるだけ受講対象者が受講しやすい時間帯に開催したい。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 内容は主に年4回の講演会開催であり、各学校、幼稚園、保育園の保護者等の協力で実施しているため委託は不要と考えられる。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	開催時間中のエプロンママによる託児を継続し、参加しやすい環境を整える。少子化の進展など社会情勢の変化に伴う新たなニーズに対応した事業内容を検討する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.304

平成29年6月29日作成

事業番号	424	担当課等	社会教育課								
事務事業名	子育て学級開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	① 学習機会の充実
関連する個別計画					
目的	乳幼児期の子育てについて保護者が理解を深めることで、子育て中の不安や悩みを軽減し、安心してのびのびと子育てができるようにする。				
対象	0歳児から就園前の幼児の保護者				
内容	子育てに関する様々な課題をテーマに、年4回、講演等を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		40,000	40,000	43,000		
	人件費	常勤職員	31,354	30,842	29,971		
		非常勤職員等					
		人件費合計	31,354	30,842	29,971		
	総事業費		71,354	70,842	72,971		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		71,354	70,842	72,971		
	財源合計		71,354	70,842	72,971		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開催回数			参加機会の提供	回	4	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			子育ての理解を高める	人	33	51	116

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生涯学習の一環として家庭教育について学ぶ機会の提供するため、町が実施すべきである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	就学前の児童の子育てに対する様々な内容の講義は他の事業にはなく、参加者が子育てに対し理解を深め、考えるきっかけとなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	講演により参加者への意識付けは高まっているが、参加者がなかなか増加しないため。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	広報等により、幅広く募集を行っている。また、エプロンママの託児の活用などにより、子どもを預けられない保護者も参加できるようにしている。
平成28年度までの自己評価または改善点		受講対象者が受講しやすい時間帯に開催したい。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 主に乳幼児の母親等を対象とし保健センターの支援のもと実施しており、委託は不要と考えられる。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし。
平成30年度以降の方向性	開催時間中のエプロンママによる託児を継続し、受講生が参加しやすい環境を整える。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.305

平成29年6月29日作成

事業番号	426	担当課等	社会教育課								
事務事業名	自然科学・歴史文化探訪事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の充実	① 多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成
関連する個別計画					
目的	郷土の豊かな自然や文化財に興味や関心を持ち、自然を大切にすることを通して人を愛する心を育む。				
対象	町民				
内容	各種観察会(ツバメや野鳥、海のプランクトン、川の生物)、天体観察、地域の歴史と文化施設などの訪ね歩きの実施。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		35,696	31,192	652,000		
	人件費	常勤職員	15,677	15,421	14,985		
		非常勤職員等	88,156	11,625	11,625		
		人件費合計	103,833	27,046	26,610		
		総事業費		139,529	58,238	678,610	
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		2,700	3,000	41,850		
	一般財源		136,829	55,238	636,760		
	財源合計		139,529	58,238	678,610		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開催回数			参加機会の確保	回	5	5	5
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			学習機会の提供	人	93	84	90

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	多様な生涯学習に対応し、幅広い世代に興味を持ってもらうために、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	直接自然や文化財に触れられる事業は他に類似がなく、参加者に関心を持つきっかけとなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業に参加したことで、さらに他の事にも興味を持つ参加者が増えた。また何年か連続で参加している方も増え、さらに知識を深め自然を愛する心を育んでいる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	地方紙や町広報誌のほか、町内学校での事業広報により参加募集を行っている。
平成28年度までの自己評価または改善点		各種講座は親子のふれあいと学習を兼ねた機会として定着し、毎回ほぼ定員で実施している。平成28年度に事業の収支透明化のため参加費の歳入や材料費の支出などを予算化した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	個別の事業ごとにジャンルや方向性が異なり、同一事業として委託は困難である。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	町の文化財を紹介した冊子840冊を、町内の4年生以上の生徒に配布を予定。 天体観測事業における望遠鏡キット購入費用は参加者負担であり、経費の透明化のため町の歳入に計上した。	
平成30年度以降の方向性	サークル活動の延長線上にある催事と異なり、多様な生涯学習の機会を提供する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.306

平成29年6月29日作成

事業番号	427	担当課等	社会教育課								
事務事業名	生涯学習推進員養成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	⑤ 社会教育団体と指導者の育成
関連する個別計画					
目的	町の生涯学習を推進するリーダーを養成し、地域会館の活用や地域に根差した生涯学習の推進を図る。				
対象	湯河原町生涯学習推進員				
内容	生涯学習推進委員を対象とした研修講座等を開催する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		40,000	40,000	50,000		
	人件費	常勤職員	31,354	30,842	29,971		
		非常勤職員等					
		人件費合計	31,354	30,842	29,971		
	総事業費		71,354	70,842	79,971		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		71,354	70,842	79,971		
	財源合計		71,354	70,842	79,971		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
研修開催回数			研修機会の提供	回	1	1	2
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			交流・学習機会の提供	人	9	8	8

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	地域会館活用事業において中心的な役割を担う生涯学習推進員の養成のため、町が研修等実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	研修で得た知識をもとに、担当区域においてその知識を活用している。また、他事業との類似はない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	研修で得た知識をもとに、担当区域においてその知識を活用している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	地域会館活用事業を行う地域実践委員会の構成員により選出された委員を対象としている。
平成28年度までの自己評価または改善点		推進員の日程があわず、研修会を開催できないことがあったため、日程調整を綿密に行うべき。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	各地域会館での地域活動の核となる人材を育成するための研修会等の開催を主にしており、委託は不要と考えられる。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	推進員の予定人数を9人から8人とした	
平成30年度以降の方向性	地域会館を活用した事業を中心に、さらに自立を促すための支援を継続していく。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.307

平成29年6月29日作成

事業番号	428	担当課等	社会教育課								
事務事業名	保育グループ育成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	① 学習機会の充実
関連する個別計画					
目的	研修会の受講や町主催事業参加者の子どもの預りを行う。保育グループ「エプロンママ」の会員の資質向上を図る。				
対象	保育グループ「エプロンママ」会員				
内容	町主催事業参加者の子どもの預りの委託及び会員の資質向上を目的とした研修会等の開催。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		78,600	79,030	91,000		
	人件費	常勤職員	62,708	61,684	59,942		
		非常勤職員等					
		人件費合計	62,708	61,684	59,942		
	総事業費		141,308	140,714	150,942		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		141,308	140,714	150,942		
	財源合計		141,308	140,714	150,942		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
託児受付回数			託児による学習機会の提供	回	15	15	15
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
託児利用人数			受講者による利用	人	74	64	116

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	子育て世代が会議、講演等へ参加しやすくするため、町が委託事業として実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	他事業に類似はなく、講座や研修による保育グループの資質の向上ができています。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	講座や研修による保育グループの資質の向上ができています。一方、託児は前年に比べ、利用数が減っているが、一定以上の需要はあると考えられる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	保育の利用は、参加者であれば費用等がかからず利用できる。また、保育グループの会員は広く募集している。
平成28年度までの自己評価または改善点	会員の高齢化が進んでいる中で会員内で声をかけあい新会員の加入に努めている。男女共同参画講演会など他の所管で実施する講演会等でも託児の依頼を受けている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	エプロンママに委託済み。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	申込者が、断りもなく託児を欠席することが多くなってきたので、申込時に口頭で説明することとした。	
平成30年度以降の方向性	生涯学習、家庭教育の推進において必要なため継続したい。 会員の高齢化が目立つため、新たな会員の募集育成によりニーズに対応できる人員の確保に努める。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.308

平成29年6月29日作成

事業番号	431	担当課等	社会教育課							
事務事業名	町民大学運営事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	昭和 32 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	① 町民大学の拡充
関連する個別計画					
目的	町民の教養講座として学習意欲に応える				
対象	町民、町内在勤者				
内容	各分野の専門家を講師に招き、講義形式で毎月1回(第3土曜日)の講座を開催。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費		330,893	4,028,534		1,400,000		
	人件費	常勤職員	752,496	740,208		719,304		
		非常勤職員等	900,000	1,125,000		1,205,000		
		人件費合計	1,652,496	1,865,208		1,924,304		
	総事業費		1,983,389	5,893,742		3,324,304		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源			940,000		881,000		
	一般財源		1,983,389	4,953,742		2,443,304		
	財源合計		1,983,389	5,893,742		3,324,304		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
年間開催講義数			講座を受講できる機会		回	12	12	12
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
継続的に出席している			年間6回以上出席者数/受講申込者数		%	73.3	82.1	90.0
受講生の割合								

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町民の学習意欲に応える場として、また60年以上続く講座として、町が今後も実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	他事業で幅広い年齢の対象者が継続的に学習できる事業はなく、また出席率も高い水準を維持できている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	継続して事業を行い、出席率も高い水準を維持しており、町民の学習意欲に応えることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	定員はあるが、広報紙やHP、町内各所で広く広報し、受講生を募集している。
平成28年度までの自己評価または改善点	事業開催以来、町からの補助事業と申込者による受講料により運営していたが、平成28年度から受講料を町収入とし、町民大学運営委員会へ委託事業とした。また平成28年度に開講60周年を迎え記念講演及び記念式典を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	町民大学運営委員による運営は、開講以来60年の歴史があり平成28年度からは同医会へ委託済み。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	事業費用を補助金形式から、受講料を町収入とした委託事業へと変更し、事業費用の適正運営・透明化を更に進めた。	
平成30年度以降の方向性	人気のある講義のほか、受講者から希望や時世に合った内容の講義を行う。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.309

平成29年6月29日作成

事業番号	433	担当課等	社会教育課								
事務事業名	遊びと学び推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の充実	① 多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成
関連する個別計画					
目的	地域会館(門川・文化福祉・川堀)を活用して、地域に根ざした生涯学習の充実を図り、生涯学習の推進に努めるとともに、町民の自主的、主体的な学習活動を支援する。				
対象	町民				
内容	各地域会館の担当委員会において各種事業(各種プレゼント作り、体験教室、うどん・そば打ち等)の企画、運営を行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		210,000	210,000	210,000		
	人件費	常勤職員	31,354	30,842	29,971		
		非常勤職員等	10,010	10,230	10,230		
		人件費合計	41,364	41,072	40,201		
	総事業費		251,364	251,072	250,201		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		251,364	251,072	250,201		
	財源合計		251,364	251,072	250,201		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
事業開催数			地域の自主的な実施	回	13	17	15
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
事業参加者数			地域の自主的な実施	人	196	187	200

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	身近な地域会館を活用し年齢を問わず文化を学び楽しむ機会を幅広くつくるため、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	参加者が伸び悩んでいるが、町民が自主的に企画・運営する事業は他に類似が少なく、地域にも少しずつ認知されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	町民が自主的に企画・運営し、また講師も町民が行うことで、主体的な学習活動が行えている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	3つの地域会館で開催しており、宮上方面に当該組織がないが、参加にあたっては、どの会館でも分け隔てなく受講できる。

平成28年度までの自己評価または改善点	町内に3つある地域会館実践委員会との連絡を密に保ち、各講座を行っている。また、平成29年度から誰もが遊びながら学べる事業との意味から、事業名を「遊びと学び推進事業」と柔らかな表現とした。
---------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	事業名称「地域会館活用事業」を、平成29年度から「遊びと学び推進事業」と変更。 参加者が地域会館のある地区に係らず参加できる体制を、より推進していく。	
平成30年度以降の方向性	様々な方が参加したくなる講座の開催を目指す。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.310

平成29年6月29日作成

事業番号	1129		担当課等		社会教育課						
事務事業名	親子陶芸教室開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P130 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の充実	① 多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成
関連する個別計画					
目的	陶芸を通して、親子がふれあいを深めながら、ものを作る楽しさを体験する。				
対象	町民				
内容	町内の施設において、陶芸師を講師に陶芸作品を制作する。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		85,224	96,532	110,000		
	人件費	常勤職員	31,354	30,842	29,971		
		非常勤職員等	9,100	11,160	11,160		
		人件費合計	40,454	42,002	41,131		
	総事業費		125,678	138,534	151,131		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		84,000	94,600	105,600		
	一般財源		41,678	43,934	45,531		
	財源合計		125,678	138,534	151,131		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
開催回数			参加のし易さ	回	6	6	6
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			参加状況	人	43	43	48

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	参加者相互のコミュニケーションを図ることができ、また普段行えない体験ができる機会を作るため町が実施すべきである。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	参加者から参加費を徴取しているため、町費の負担は少額であり、また参加者は事業に満足している。
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	定員を超える参加申込みがある。参加者は皆、楽しみながら親子のコミュニケーションをとっており、事業目的に沿った効果が得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町広報や小・中学校にチラシを配布するなど周知を図り、広く参加者を募っている。
平成28年度までの自己評価または改善点		開催回数及び受講可能人数を増やした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	委託は可能だが、現在の予算額での委託は難しい
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	なし	
平成30年度以降の方向性	参加希望者のニーズを把握し、開催回数、募集人数、事業内容について見直しを行う。また、民間でも同様の教室があるのでその点も考慮しなければならない。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.311

平成29年6月29日作成

事業番号	437	担当課等	社会教育課							
事務事業名	青少年相談員設置事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成 年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	③ 青少年相談の充実
関連する個別計画					
目的	青少年が、学校や専門機関へ相談できない事柄にやさしく対応、助言し、相談者の不安を取り除く。				
対象	青少年				
内容	2名の相談員により、青少年の非行防止と非行少年の適正措置、不登校や就学、就業等の相談受付のほか、巡回パトロール及び街頭指導、有害図書の調査・指導を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		58,038	61,032	66,000		
	人件費	常勤職員					
		非常勤職員等	4,931,660	4,931,660	4,931,660		
		人件費合計	4,931,660	4,931,660	4,931,660		
	総事業費		4,989,698	4,992,692	4,997,660		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		4,989,698	4,992,692	4,997,660		
	財源合計		4,989,698	4,992,692	4,997,660		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
巡回・電話連絡等			活動数	回	746	692	700
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
補導数			相談員が巡回し、声をかけた数	人	23	45	30

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生きるうえでの不安に対する相談を受ける窓口は、町が主体として積極的に設置すべきであると考え
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	青少年を対象とした相談窓口は当事業しかない。また警察からの紹介で相談員を任用しているため、行政職員とは違った回答ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	悩みの相談窓口として、何度も相談する方がおり、相談者の不安を取り除くことができている。また町内を巡回することで、犯罪の抑止につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	広報紙等で周知をしている。また、特に相談の制限はなく、連絡があれば幅広い内容を相談できる。
平成28年度までの自己評価または改善点		小田原署及び神奈川県警に相談員の募集及び紹介を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	相談員には警察から青少年を担当した経験のある方を、招いているため、委託や指定管理には馴染まない。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	相談員は非常勤職員であるため、65歳を超えないよう警察署との連絡を密にした。	
平成30年度以降の方向性	相談員は基本的に警察OBに依頼する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.312

平成29年6月29日作成

事業番号	438	担当課等	社会教育課								
事務事業名	成人のつどい開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	② 青少年育成体験活動の推進
関連する個別計画					
目的	青年に大人としての自覚を持つよう促す。				
対象	その年度内に成人となる町民、または以前に湯河原に居住していたことのある新成人				
内容	対象者から実行委員を募集し、自主的に式典や記念の集いなどの企画や運営を行ってもらう。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		384,233	629,758	736,000		
	人件費	常勤職員	627,080	616,840	599,420		
		非常勤職員等	98,735	100,905	100,905		
		人件費合計	725,815	717,745	700,325		
	総事業費		1,110,048	1,347,503	1,436,325		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,110,048	1,347,503	1,436,325		
	財源合計		1,110,048	1,347,503	1,436,325		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成人のつどい開催回数			年1回の開催	回	1	1	1
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
出席率			登録者に対する出席率	%	72	70	90

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	新成人による実行委員会の立ち上げ及び運営に必要な財源の確保は実行委員会だけでは困難である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	生涯で一度の行事として当事業を行うことで、大人としての自覚を持つきっかけとなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	7割を超す新成人が参加し、多くの方に大人になることを自覚してもらう機会を与えることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民登録のある新成人全員に案内するほか、申し出のあった登録外の新成人も参加可能。また、欠席者のうち希望者には記念品を贈呈している。
平成28年度までの自己評価または改善点		平成28年度から実行委員謝礼金額を増額(5,000円→10,000円)また、新成人へ記念品(冠婚葬祭のマナー本)を贈呈している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	実行委員による自主的な企画・運営に意味があることなので、委託は不可能
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	式典参加者に対して記念として「冠婚葬祭マナー」の本を贈呈する。	
平成30年度以降の方向性	新成人となる人口は減少傾向にあり、成人のつどいの出席率を維持したい。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.313

平成29年6月29日作成

事業番号	439		担当課等		社会教育課						
事務事業名	青少年健全育成地域活動推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	① 青少年健全育成関係団体の支援
関連する個別計画					
目的	地域において大人と子どものふれあいを図り、互いの連帯感を培う。				
対象	各地区「明るい青少年を育てる会」(5地区)及び各地区「母親クラブ」(2地区)				
内容	地域活動を推進・支援するため、5地区の「明るい青少年を育てる会」及び2地区の「母親クラブ」の団体運営に対して助成を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		240,000	240,000	240,000		
	人件費	常勤職員	31,354	30,842	29,971		
		非常勤職員等					
		人件費合計	31,354	30,842	29,971		
	総事業費		271,354	270,842	269,971		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源		120,000	120,000	120,000		
	一般財源		151,354	150,842	149,971		
	財源合計		271,354	270,842	269,971		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
助成交付団体数			関連団体全てを支援	件	7	7	7
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
助成交付団体数			申請団体全てに交付	件	7	7	7

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	ゆがわら2011プランの主要施策として明文化している事業であるため、町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5	各団体の総事業費に対する町の助成額は5万円未満であり、町側にかかる費用は少ないが、各団体が積極的に活動している。
類似性	他事業との類似はないか		
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	各団体が、各地域の特色を生かした様々な青少年健全育成事業の実施に活用されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	各団体に対し均等に助成している。
平成28年度までの自己評価または改善点		各団体の活動に対する補助として満足している	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助金の交付のため、委託はなじまない。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	各団体の状況を踏まえつつ継続する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.314

平成29年6月29日作成

事業番号	441	担当課等	社会教育課								
事務事業名	親善都市子ども交流推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P142 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅲ 多文化共生社会の実現	3 地域間交流	(1) 地域間交流の推進	② 親善都市及び姉妹都市との交流推進
関連する個別計画					
目的	町内のこどもたちが姉妹都市や親善都市の子どもたちと交流をすることにより、親睦を深めとグローバルな視野や考え方の醸成を図る				
対象	親善都市(三原市):小学5・6年生 姉妹都市(オーストラリア、ポートスティーブンス市):中学2年生				
内容	三原市とは隔年で相互訪問、ポートスティーブンス市とは毎年6名の中学生と引率教諭により訪問、ホームステイし、市役所などへ表敬訪問、現地の学校への通学も行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費					
コスト	人件費	940,620	925,260	899,130		
	非常勤職員等	35,263	35,263	36,038		
	人件費合計	975,883	960,523	935,168		
	総事業費	4,334,949	3,361,345	4,717,168		
	総事業費	4,334,949	3,361,345	4,717,168		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	150,000	150,000	135,000		
	地方債					
	その他特定財源	505,000	300,000	2,447,000		
	一般財源	3,679,949	2,911,345	2,135,168		
	財源合計	4,334,949	3,361,345	4,717,168		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
交流日数	交流機会を作る	日	14	14	14	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
参加人数		人	47	46	46	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町内の小・中学生が対象となり、親善都市と交流をするため、町内の各学校や、親善都市の学校・行政と調整が必要となり、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	親善都市の方と交流を深めることができ、また、親善都市のことを深く知ることができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	親善都市の児童・生徒がお互いの町を行き来することで、児童同士の交流を深め、お互いを深く知ることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	選考は、抽選や選考試験など公平性を保った方法で実施している。また、町内在住の対象年齢の方も募集している。
平成28年度までの自己評価または改善点	ポースティーブンス市へ派遣した中学生が、現地で病院に雇われる事態となったが、引率者と姉妹都市委員会との連携で対応できた。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 親善都市委員会又は行政を通しての交流であるので、委託は困難。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	現地における緊急時への対応策として、現地親善都市委員会スタッフと人員の手配を依頼。 また、派遣生徒分の自己負担金などを町歳入に計上した。
平成30年度以降の方向性	各学校の実情や関係機関と協議しながら、派遣生徒の人数、随行者の在り方などを必要に応じて検討しつつ事業を継続する。

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

ポースティーブンス市との相互派遣交流では、相手側から派遣が難しいという連絡を受け、継続するための方策をポースティーブンス市と検討する必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)
------	---------

平成29年度事務事業評価シート

No.315

平成29年6月29日作成

事業番号	442	担当課等	社会教育課								
事務事業名	放課後児童健全育成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	(4) 学童保育・放課後子ども教室の充実
関連する個別計画					
目的	放課後及び学校休業中に保護者等の適切な保護を受けることができない小学生の健全な育成を図る。				
対象	町内の小学生				
内容	町内3小学校に在籍する児童を対象に、3小学校内において学童保育を実施。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		2,925,199	2,725,459	8,112,000		
	人件費	常勤職員	7,619,000	7,495,000	7,283,000		
		非常勤職員等	30,438,335	30,421,487	38,006,000		
		人件費合計	38,057,335	37,916,487	45,289,000		
	総事業費		40,982,534	40,641,946	53,401,000		
財源内訳	国庫支出金		6,732,000	7,026,000	7,396,000		
	県支出金		6,567,000	7,052,000	7,396,000		
	地方債						
	その他特定財源		13,776,000		23,500,000		
	一般財源		13,907,534	26,563,946	15,109,000		
	財源合計		40,982,534	40,641,946	53,401,000		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
学童保育所運営日数			1年間の開所日数	日	293	292	292
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
希望者入所率			入所者数/入所申請者数×100	%	100	100	100

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	児童福祉法で、町は放課後児童健全育成事業の実施に努めなければならないと規定されているため、町が実施する必要があると考えるが、指定管理や外部委託は検討の余地がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	他事業で類似するものがない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	入所希望している児童が待機せず、すべて入所で、適切な保護を受けられている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	申請にあたり条件はなく、申請後は運営委員会による審査会において選考している。
平成28年度までの自己評価または改善点		年々増加する入所児童に対して、施設の確保や保育支援員の確保が課題である。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	ノウハウを持っている外部業者への委託・指定管理も可能であるが、保育場所が学校の余裕教室であることなど、クリアすべき課題があるため。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	入所児童の増えた保育所で、使用する余裕教室を一部屋増やした。	
平成30年度以降の方向性	放課後子どもプランにもある通り、放課後子ども教室との連携のあり方について、検討が必要。また、外部委託や支援員の人材派遣の活用など、人材不足を解決することが必要。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.316

平成29年6月29日作成

事業番号	443	担当課等	社会教育課								
事務事業名	青少年リーダー養成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(2) 地域指導者の育成・支援	② 次世代地域指導者の養成
関連する個別計画					
目的	地域における指導者として役割が増えている青少年リーダーに対し、指導者としての技術や知識の習得を図る。				
対象	町内在住・在学中、ジュニアリーダーは中学生及び高校生、シニアリーダーは高校生を除く18歳以上の者				
内容	地域や町行事に際し、育成者や大人と子どもとのパイプ役を担い、社会貢献を行うための事業を「子ども会育成連絡協議会」へ委託し、各種研修に参加のうえ行事の企画・運営の能力を修める。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		50,000	50,000	80,000		
	人件費	常勤職員	62,708	61,684	59,942		
		非常勤職員等	7,053	7,053	7,208		
		人件費合計	69,761	68,737	67,150		
	総事業費		119,761	118,737	147,150		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金		25,000	25,000	40,000		
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		94,761	93,737	107,150		
	財源合計		119,761	118,737	147,150		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
研修会数			研修機会の提供	回	1	1	1
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
リーダーの参加行事数			指導者としての行事参加回数	回	12	12	12

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	各行事の運営や、将来のまちづくりのためにも、青少年リーダーの人材育成は町が行うべきである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	青少年リーダーが各行事に参加することで、行事がスムーズに行えている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	研修の成果を、大人よりも近い立場で発揮することで、子どもたちの育成にもつながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	会員を広報紙等で広く募集をしている。
平成28年度までの自己評価または改善点	レジャーの多様化など、従来の住民参加型行事が少なくなるが、リーダーの需要は変わらないので、人員の確保を強化していきたい。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町子ども会育成団体連絡協議会に委託済み。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	町の将来を担うキーパーソンとなりうる人材育成は必須であるため継続する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.317

平成29年6月29日作成

事業番号	444	担当課等	社会教育課								
事務事業名	青少年地域体験活動支援事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	② 青少年育成体験活動の推進
関連する個別計画					
目的	自然との共存や生きた総合学習を集団活動を通して学び、また創作芸術活動や体力向上・健康増進を図るスポーツ活動の推進を図るとともに、自然の中で親と子のふれあいを通して、家庭におけるふれあいを促進・支援し、単なる体験学習にとどまらない継続的な学習となるよう実施する。				
対象	・湯河原町子ども会育成団体連絡協議会 ・湯河原町青少年指導員会				
内容	地域の各団体における各種体験活動を推進・支援するための事業を、関係団体に委託して実施するもの。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
	事業費		420,000	483,219	420,000		
	人件費	常勤職員	940,620	925,260	899,130		
		非常勤職員等	35,490	35,490	36,038		
		人件費合計	976,110	960,750	935,168		
	総事業費		1,396,110	1,443,969	1,355,168		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金		210,000	257,000	210,000		
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源		1,186,110	1,186,969	1,145,168		
	財源合計		1,396,110	1,443,969	1,355,168		
活動指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
支援行事数			幅広い事業を支援する	回	4	4	4
成果指標			指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
参加者数			体験活動の直接効果	人	614	346	700

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	家庭におけるふれあいの促進、支援を継続的に支援する将来のまちづくり、青少年育成を担う人材育成は町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	各行事の運営を委託することで、安価に、またスムーズに運営が行えている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	事業実施にあたっては委託先団体の知識や連携を活かすことで多くの青少年の参加を実現している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	事業実施にあたっては広く町内全域に参加者を呼びかけている。
平成28年度までの自己評価または改善点		参加者の数が年々減っている。周知を徹底し、活動を広めていくべきである。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原町子ども会育成団体連絡協議会及び湯河原町青少年指導員会へ委託済み
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	今後も参加者の確保策を講じ、継続して実施する。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成29年度事務事業評価シート

No.318

平成29年6月29日作成

事業番号	776	担当課等	社会教育課								
事務事業名	放課後子ども教室推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P135 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	(4) 学童保育・放課後子ども教室の充実
関連する個別計画					
目的	小学校の余裕教室を利用して、地域の大人の協力を得て子どもたちの活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や地域住民との交流等を支援する。				
対象	町内の小学生				
内容	活動推進員やサポーターを配置した上で、湯河原小学校で児童の自主的な学びの場として「まなび教室」を、東台福浦小学校では放課後の安全な居場所として「そよかぜ教室」を行っている。				

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)	
	事業費		2,133,527		2,652,514		3,489,000	
	人件費	常勤職員						
		非常勤職員等	900,000		1,125,000		1,205,000	
		人件費合計	900,000		1,125,000		1,205,000	
	総事業費		3,033,527		3,777,514		4,694,000	
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金		1,081,000		1,202,000		1,499,000	
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		1,952,527		2,575,514		3,195,000	
	財源合計		3,033,527		3,777,514		4,694,000	
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
実施個所数			教室の数		箇所	2	2	3
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値
登録児童数			まなび・そよかぜ教室の登録数		人	101	127	150

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	子どもたちと地域住民とをつなぐパイプ役として町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校とは違った体験や交流活動を行うことができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	それぞれの教室で参加している子どもたちに体験活動や交流、居場所作りの機会を与えることができしており、その中で子どもたちが成長している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	現在吉浜小学校には放課後子ども教室がないため、湯河原小と東台小の2校のみとなっている。
平成28年度までの自己評価または改善点		両教室について、それぞれのカリキュラムに応じたコーディネーター、サポーターの協力により円滑な運営ができているが、さらに小学校や学童保育所との連携確立に努めた。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	地域の人材を活用した子どもへの学習機会の提供の場であり、委託の必要性は低いと考えられる。
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし。	
平成30年度以降の方向性	吉浜小学校での教室の開設が必要。また、放課後子どもプランにもある通り、学童保育との連携のあり方について、検討が必要。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------